✤ 学習者の年齢内訳について（不明を除く）

　　・「20～29歳」が最も多く21％を占めた。ついで「30～39歳」が多く18％を占めた。

✤ 出身国・地域別　学習者数について（学習者数が多い10項目）

　　・平成２９年度と比べると、１０項目中９項目で、学習者数の減少がみられた。

各項目の年齢分布について（不明を除く）

・「ベトナム」「フィリピン」「インドネシア」では、「２０～２９歳」が最も多かった。

・「中国」「ネパール」「タイ」「インド」「アメリカ合衆国」では、「３０～３９歳」が最も多かった。

　　・「日本」「韓国・朝鮮」では、「７０～７９歳」が最も多かった。

✤ 出身国・地域別の全体に占める割合の変化について

　　・ベトナムが学習者全体の約25％を占めており、H29年度調査より５ポイント増加している。

　　（ベトナムの学習者全体に占める割合　　H25年　約10％　→　H29年　約20％　→　R3年　約25%）

　　・H29年度調査において学習者全体の約30%を占めていた中国は、約23%と７ポイントの減少となった。

（識字教室：24教室　　日本語教室：106教室　　識字・日本語教室：61教室）

**（７）教室の活動内容**

複数回答可（教室）



（その他の回答）

・簡単な手話

・国際交流の集い年2回開催

・お楽しみ会、卒業お祝い会など

・読書を通じた日本語・日本文学への理解

・日本語発表会

・書道、オンライン交流会など

・コロナ対策学習

・日本人のエッセイの読解

（語句・熟語・慣用句・表現法の学習、自らの人生観、人間観等との比較検討）

・学習者の段階に応じて設定

・地域の小中学校での国際交流

・府立高校特別入試のための学習支援、公立小学校での英語学習に備えた学習支援

・漢字検定問題の学習

・健康促進のための体操

・えんぴつポスター制作

・パソコンでの日本語入力練習

・地域の盆踊り練習・夏祭などに参加

・人権問題について学習・話し合い

・防災学習（出前講座）の実施

・合唱、ゲーム活動

・音楽を交えての交流学習会

**（８）教室での活動形態**

複数回答可（教室）



**①活動形態**

**②オンライン学習の実施**

（教室）

✤ オンライン学習の実施について

　　・オンライン学習を実施しているのは、教室全体の約28％であった。実施している教室の内、日本語教室が約91%を占めた。

　　・オンライン学習を実施する予定がないとしたのは、教室全体の約56%であった。教室の位置づけ別でみると、日本語教室は約41%であったのに対し、識字教室では約71%、識字・日本語教室では約77%であった。



**③オンライン学習を「実施したいができない」「実施する予定はない」理由**

複数回答可（教室）

【（８）-②オンラインの学習の実施】で「実施したいができない」「実施する予定はない」と回答した教室数

（識字教室：21教室　　日本語教室：57教室　　識字・日本語教室：55教室）



**（９）教室で使用している学習教材**

複数回答可（教室）

（識字教室：24教室　　日本語教室：106教室　　識字・日本語教室：61教室）



（「ア：教室・学習支援者自作の教材」について）

・文法についてのプリント

・ベトナムやフィリピンの昔話から紙芝居を作り生い立ちの掘り起こし、戦争体験や平和について

・母国の文化にかかわる教材

・漢字の書き順、自国語でふりがな帳

・日本語での交流・会話を目的とした教材

・生活の漢字学習教材

・中国小話や中国語版日本昔話などを日本語に直す練習

・紙芝居

・自作の問題集

・買い物の計算問題

・新聞投稿エッセイ、暮らしの知識などの読み物教材

・慣用句、ことわざ、熟語などの語句教材

・間違い探し、文字の穴埋め

・小学校レベルの日本語教材

・日本語の歌の聞き取り練習用ワークシート

・計算表

・仕事のための実践日本語

・日本学生支援機構大阪日本語教育センター作成のテキスト2種及び付随する各国語語彙集

・防災ワークショップ、食品買物ワークショップ

・賞味期限・消費期限ワークショップ

・オノマトペクイズ

・路線図、詩や俳句、学習者の国の歌や誕生日の祝い方の紹介

（「ト：その他」について）

・絵本

・はじめのいっぽ、日本語　かな入門

・アルクの日本語テキスト新にほんご＜あいうえお＞、しんにほんごのきそ

・TRY文法から伸ばす日本語

・決まったテキストは使用していない

（ボランティアといっしょにおしゃべりしながら子育てにまつわる日本語を学んだり、

生活情報を交換する）

・学習者が持参する学校の宿題やドリルなど

・声に出して読みたい日本語、差別に関する本や日本文学

・できる日本語初級、できる日本語初中級

・中級を学ぼう　中級前期

・図鑑類

・留学生のための時代を読み解く上級日本語

・はじめてのにこにこ、にこにこ、おしゃべりのたね、中級から学ぶ日本語

・中級へ行こう、日本語敬語トレーニング、日本社会探検

・習字、作文を書く

・学習者が普段使用しているテキスト、問題集

・防災マップ

・にほんごをまなぼう

・いっぽにほんごさんぽ

・マンガ×くり返しで覚える１２００

・センターにある幼児向け絵本や漫画

・にほんご音読トレーニング　まるごと

・中日交流標準日本語

・学習者が学びたい教材

・公共機関から届いた書簡などの書類

・PCでの文字うち

・学校からのおたより

・にほんご読み書きのたね

・日本語初級１ 大地 メインテキスト ・

・カレンダー

・カルタ

・かなマスター

・みんなの教材サイト

・大阪府公立高校特別入試問題

・コグトレ（認知機能強化トレーニング、認知ソーシャルトレーニング、認知作業トレーニング）

・日本地図・世界地図

・漢字検定問題集

・かな入門

・新にほんご会話トレーニング、新・にほんご敬語トレーニング、にほんご漢字トレーニング

・学ぼう日本語○○級

・日本人の心がわかる、いつかどこかで

・マンガで学ぶ日本語

・迷路、ぬり絵

・仕事に関わるパンフレット等

・中国からの帰国者のための生活日本語

・解放新聞

・TRY（N5/N4）・キラリ日本語・日本語初級（１・２）・文法活用ドリル

・にほんご宝船

・大阪府人権教育研究協議会の教材

・テーマ別 中級から学ぶ日本語、上級から学ぶ日本語

・テーマを決めて「1分間スピーチ」

・漢字たまご　初級、漢字たまご　初中級

・日本人がよく使う日本語会話　お決まり表現180

・教室作成の新聞、教室の文集

・童話集

・文字カードや地図帳、日本語教材　げんき

・こどものにほんご

・みえこさんのにほんご

・YouTube動画や、ネット上に公開されている教材

✤ 使用している教材について

・識字教室では「自作教材」が約54％であったのに対して、日本語教室、識字・日本語教室では「みんなの日本語」がそれぞれ約74%、約57%であった。

・選択肢以外にも「その他」に多くの記入があり、学習者に応じて多様な教材が使用されていることが伺える。

**（10）教室での費用の徴収**

**①徴収の有無**

（教室）



**②誰から徴収しているか**

複数回答可（教室）



**③経費の使いみち**

複数回答可（教室）



（識字教室：３教室　　日本語教室：47教室　　識字・日本語教室：4教室）

（その他について）

・教室の運営費（光熱費・通信費・事務費等）

・コロナ対策の備品・消耗品購入費

・Zoom契約及び使用料

・災害に対する積立金